

JFS-C 規格文書 Version 2.3 から Version 3.0 への改定の概要

一般財団法人食品安全マネジメント協会

I. 改定目的

JFS-C 規格が国際標準に整合する規格として、GFSI の承認を維持していくために、GFSI のベンチマーク要求事項の改定に合わせて規格文書を改定いたします。

II. 改定方針

GFSI が 2020 年 6 月に公表したベンチマーク要求事項 バージョン 2020.1（以下 BR 2020.1）における、新たな要求事項と強化された要求事項に整合させ、JFS-C 規格文書 Version 2.3 を Version 3.0（以下、本規格）へと改定します。

BR 2020.1 において、ISO 22000 に沿ったスコープ構造が採用され、加えてコーデックス委員会の最新の食品衛生ガイドラインを参照する主旨の変更があり、本規格もこれらの変更準拠することとします。

これにより、セクターコードは EI、EII、EIII、EIV⇒CI、CII、CIII、CIV と L⇒K とそれぞれ変更します。なお CI、CII、CIII、CIV および K の要求事項は、全て共通のものとなります。

III. JFS-C 規格（セクターC/K）の改定の概要

1. 新規要求事項

1) 食品安全文化

BR 2020.1 において食品安全文化の要素が加わったことをうけ、本規格は、FSM 2 において、トップマネジメントのコミットメントに食品安全文化の要素を含めることを要求しました。また本規格では、このコミットメントの要素として、FSM 26 で求める従業員からの食品安全に関する改善提案に、トップマネジメントが対応することを要求しました。

2) トレーサビリティの検証

FSM 14 において、組織が、文書化されたトレーサビリティ手順に基づいて少なくとも年 1 回のトレーステストを行うこと、そしてその手順が効果的に機能していることの検証を行うことを要求しました。

3) 製品開発での食品安全

FSM 15 において、組織が、製品設計及び開発手順を確立すること、そしてその手順の中に、食品安全を保証するためのレビューを含めることを要求しました。

4) 表示なし製品での情報提供

FSM 18.2 において、製品に情報を表示または添付しない場合においても、組織が、顧客または消費者に対して、製品の安全性に関する情報を提供する手順を定め、実施することを要求しました。

5) サイトの巡回・点検

GMP 10 において、組織が、事業場の環境、設備、ヒト・モノ・作業の動線に対して巡回計画を確立し、定期的実施することを要求しました。

2. 強化要求事項

1) 文書管理

FSM 9.2 において、顧客または法的要求事項がない場合の文書の保管期間に対して、組織が、その食品の保存期間を超える期間、文書を保持することを要求しました。

2) 検査

FSM 19.1 において、組織が行う検査の中でも食品安全に重大な影響のある検査は、ISO/IEC 17025 に準じて行われることを要求しました。

3) レイアウトやフローの分析

GMP 3 において、組織が、事業場の施設を場外・場外にわたって、食品安全リスクを最小源に抑えるよう設計・施工・維持すること、また設備レイアウトとヒト・モノ・作業の動線について、食品安全リスクを最小限に抑えるものであるか分析することを要求しました。

4) 交差汚染の管理

GMP 4 において、組織が、HACCP の重要管理点 (CCP) には該当しないものの、製造環境の視点から全ての危害要因に対して適切な管理手段を設定し、それらの危害要因と原材料・製品が交差汚染しないよう管理することを要求しました。

5) 従業員の定期的なトレーニング

GMP 7 において、組織が、全ての従業員に対して食品安全に関わる教育・訓練を行う仕組みを作ること、そして力量評価をした上で必要に応じ教育・

訓練を繰り返すことにより、理解度を高めることを要求しました。

6) 洗浄の有効性検証

GMP 8 において、組織が、リスクに応じて整理整頓、殺菌、消毒手順を文書化し、その手順の有効性を検証することを要求しました。

7) 製造目的以外の水の管理

GMP 11 において、組織が、食品製造に使用する空気、高圧ガス、水を定期的にモニタリングすること、および食品製造に適さない水が製造用の水を汚染することがないように管理することを要求しました。

8) 有害生物防除

GMP 13 において、組織が、事業場における有害生物の発生リスクを防止、管理、排除するための手順を確立することを要求しました。

9) メンテナンス

GMP 19 において、組織が、製品の安全上重要な全ての工場施設、設備に対して保守する仕組みを確立することを要求しました。

以上